

ピー・アンド・エス



http://www.pands.jp

参考文献のご提供はお断りして おりますのでご了承ください。



ご自由にお持ち帰りください

痛風は、ある日突然、足の親指の付け根が赤く腫れて激しい痛みが起きます。吹いてきた風が 当たるだけでも痛いため「痛風」という名が付いたとも言われています。

最初の痛風発作の7割は足の親指の付け根に起きますが、それ以外に足の甲、足首、アキレス 腱、膝関節などにも発作が起こることがあります。

痛風発作は、夜中から明け方に起きることが多く、痛みのピークは発症後2~3日間続きます。

痛風の原因

痛風の原因は、血液中の尿酸が多くなることです。尿酸値が高ければ高いほど痛風を起こすり スクは高くなっていきます。尿酸値が7.0mg/dlを超えた状態を「高尿酸血症」と言います。

薬物療法について

高尿酸血症の状態のままでいると、ある日突然イタタタタ…なんてことに。痛風発作を起こさ ないためには、適切な治療を受けて生活改善をする必要があります。

尿酸値を下げる薬(尿酸降下薬)は、高尿酸血症のタイプに応じて選択されます。

▶ 体内で尿酸を作りすぎないようにする薬(尿酸生成抑制薬)

⇒アロプリノール・フェブキソスタット・トピロキソスタットなど

≫ 尿酸を体外に出しやすくする薬(尿酸排泄促進薬)

⇒ベンズブロマロン、プロベネシド、ドチヌラドなど



薬を飲めば尿酸値は下がりますが、自己判断でやめてしまうと再び高くなることが あります。痛風の発作が起こらないからといって、薬を勝手にやめてはいけません。

生活習慣の見直し

尿酸降下薬による薬物治療とともに、大切なのが 生活習慣の改善です。過食を避け、プリン体の多 い食材やアルコールの摂りすぎに注意しましょう。

> また、過度な運動は控え、軽い 運動を継続して行うよう心がけ ましょう。





お薬や食事に関することなど、ご相談に応じますので、どうぞお気軽に 薬局の薬剤師・栄養士にお声かけください。

参考:高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン等

皆さん、食物繊維は足りていますか?年末年始はイベントが続き、お肉料理や揚げ物を食べる 機会が増えるため食事が偏り、食物繊維が不足しがちになります。

そこで今月は、食物繊維について楽しく学べ るクイズをご用意しました。全問解けるか、 ぜひ挑戦してみてくださいね。

② ¶ 食物繊維は体の中でどんな働きをするので しょうか?

- ①便诵を良くする
- ②骨を強くする
- ③筋肉や皮膚、髪の毛を作る材料になる

食物繊維の目標量は1日21g以上(18歳 ~64歳男性)とされ、1食あたりでは約7g (Q) ② 以上になります。では食物繊維7gを含む 重量は、次の野菜・きのこではどのくらい になるでしょうか?













?個分

ヒント!

さつま芋100g(中サイズ約1/2本) に含まれる食物繊維は2.2gです。

②3 食物繊維は、主に野菜・きのこ・海藻に 多く含まれています。次の食品を食物繊 維が多く含まれている順に並べ替えてみ ましょう。

【1食あたり】







生おから50g! ゆでブロッコリー60g! ゆでそば230g







ゆでひじき50g ! アボカド1/2個 ! ゆでエリンギ1本

△1 正解は①!

ごぼうやきのこ類に含まれている不 溶性食物繊維は、腸を刺激し、ぜん 動運動を盛んにして排便をスムーズ にします。また、野菜や果物、海藻 に含まれている水溶性食物繊維はコ レステロールの吸収を妨げたり、小 腸での糖の吸収を穏やかにするなど 生活習慣病の予防が期待できます!

△2 正解はこちら!

レタス… 約1.6個分 トマト… 約4.3個分 ピーマン… 約12.6個分 しめじ… 約2.6パック分 しいたけ… 約10個分

1食でたくさんの野菜を食べるのは なかなか大変ですね。加熱をして野 菜のカサを減らすなど、工夫しなが ら取り入れましょう。

△③ 正解はこちら!

ゆでそば(食物繊維量6.7g)

- →生おから(5.8 g)
- \rightarrow アボカド(3.9 g)
- \rightarrow ゆでブロッコリー(2.6g)
- →ゆでひじき(1.9g)
- →ゆでエリンギ(1.7g) です!

意外にも「そば」には食物繊維が白 飯(1食分150g)の2.9倍多く含まれて います。さらに、そばのトッピング をきのこ類にして、副菜に野菜料理 を選ぶと、食物繊維をしっかり摂る ことができます。

全問正解できましたか?食物繊維を上手に摂って、毎日を快調に過ごしましょう。

参考:日本人の食事摂取基準(2020年版)/日本食品標準成分表(八訂)

食事に関するご相談を当薬局グループの栄養士が承っております。どうぞお気軽にお声かけください。